

令和6年度

第1回
庄内町総合教育会議

議事録

令和6年10月25日

庄内町教育委員会

令和6年度 第1回 庄内町総合教育会議 議事録

1 会議日程 令和6年10月25日(金)

開会 午前9時

閉会 午前10時45分

2 会議場所 庄内町役場 B棟 入札室

3 内 容

1 開 会

2 あいさつ

3 協 議

(1)教育行政にかかる課題について

(2)その他

4 閉会

4 出席者

(構成員)

庄内町長

富樫 透

教育長

佐藤 真哉

教育委員会委員

梅木 均(教育長第一職務代理者)

教育委員会委員

太田ひろみ(教育長第二職務代理者)

教育委員会委員

齊藤 雅子

教育委員会委員

飯判 義晃

(職員)

総務課長

鶴巻 勇

(事務局)

教育課長

清野 美保

社会教育課長

佐藤 直樹

教育課専門官兼学校教育主任専門員

佐々木 平喜

教育課課長補佐

菅原 光博

指導主事

齋藤 希望

指導主事

本間 琢也

社会教育課課長補佐

佐々木 信一

社会教育課課長補佐兼図書館長

佐藤 晃子

教育課主査兼共同調理場所長

阿部 和恵

社会教育課主査兼社会教育係長

齋藤 克弥

教育課学校教育係長

長谷部 奈津

教育課教育施設係長

齋藤 俊一

教育課主査兼教育総務係長

池田 省三

5 欠席者(構成員) なし

開 会	(午前 9 時)
教育課長	令和 6 年度第 1 回庄内町総合教育会議にご出席いただきありがとうございます。それでは、これより総合教育会議を始めさせていただきます。それでは、はじめに富樫町長からご挨拶いただきしたいと思います
富樫町長	今日の協議内容は、小中学校の再編整備それから給食費の無償化ということでございますが、小中学校の再編整備。特に小学校については、2校にするか1校にするかを含め、小学校の候補地として4か所あると聞いております。最終的には年度内には決定しなければならないということで、町民の皆様から納得していただけるように進めなければならないと思っていますので、教育委員の皆様からはそれぞれのご意見をいただきたいと思っています。給食費については、現在半年無償化はしているわけですが、県内35自治体のうち13自治体は既に完全無償化となっています。庄内町でも教育の在り方、子育て支援の在り方をしっかり考えていく必要があると思っていますので、本日は限られた時間ではありますが、しっかりとした議論をしたうえで前に進められるような体制づくりをしていきたいと考えますので、よろしく願います。
教育課長	ありがとうございました。 それでは3の協議に入りますが、議長は町長お願いします。本日の協議題といたしましては、教育行政に係る課題といたしまして、(1)小中学校再編整備について(2)給食費の無償化についてとなります。 協議に入る前に(1)について事務局から資料の説明をさせていただきます。
教育総務係長	(資料に基づき説明をする。)
教育課長	本日の協議時間は、1時間30分程度を予定しています。それでは、町長よろしく願います。
富樫町長	事務局の方から資料の説明をさせていただきました。(1)小中学校の再編整備についてですが、教育委員の皆様方も検討委員会へオブザーバーとして参加されたようですが、検討委員へのアンケート結果あるいはその中身についてご意見をいただければと思います。
飯刈委員	用地選定についてですが、適正規模・適正配置の審議会において小学生の通学時間は30分程度が望ましいという答申をしておりますが、清川立谷沢から余目地域に通学する場合は30分を超える、冬場だと1時間を超えそうな見込みがあるところが候補地とされていますが、これについていかがでしょうか？
教育課長	現在でも、中学生を含めてスクールバスでの通学時間が30分を超えているところがある状況です。また、清川立谷沢から例えば余目方面にスクールバスで通学する場合は、直行便にすることで時間短縮するなどの検討は必要と考えています。
飯刈委員	場所が決まってから通学方法を決めるのではなくて、先に通学方法を選んでから、学校の場所を決めて問題がないことを示さないで審議会の答申案に対して違うということになりませんか？
教育課長	そのような意見もあるということで承知しました。現在の通学時間に比べ長くなるということはあると思いますので、頂いたご意見を参考に検討してまいります。
町長	直行便にした場合、通学時間の試算はありますか？
教育課長	立谷沢地区の中村から約50分という試算です。

町長	以前、道の駅でトイレ休憩という話もありましたが？
教育課長	現在も清川駅でトイレ休憩というルートは組んでおりますので、清川駅又は道の駅でトイレ休憩には当然なると思います。
飯淵委員	50分というのはトイレ休憩を含んだ時間ですか？
学校教育係長	現在試算している時間は、中村を出発して清川を経由し、清川駅でトイレ休憩をとり、余目方面に向かうという形で50分としております。現在、清川立谷沢方面のスクールバスについては、一般町民の方も混乗していますのでそれを考慮しての時間設定です。直行便とした場合は、もう少し時間短縮は可能だと思いますので、新たに試算する必要があると考えます。
飯淵委員	中村集落以南にも集落がありますが、将来的に戻ってきた場合を考えての試算はしないのですか？
学校教育係長	今回資料として出している数字については、令和4年度に出生した子どもが小学校1年生になる令和11年で試算しています。現在、立川小学校に最も遠い科沢集落のお子さんがいらっしゃいますが、令和11年には卒業しているため今回の試算には含めていません。そのため令和11年において一番距離のある中村集落を起点とした試算となっております。
飯淵委員	私が親でしたら、通学時間小学生が1時間以上かかるようなところに帰ってきたくも無いと思います。今いないから試算しないではなくて、帰ってきてもらって活性化するように学校とかまちづくりとかをしなくてはいいのではないのでしょうか？
教育課長	今後、瀬場集落に児童がいる場合は、当然直行便になるとは思いますが、そこは実情に合わせ臨機応変に対応する必要があると思います。
飯淵委員	言い方は悪いですが、交通の面とかすでに悪いところで公共の交通機関がないようなところに帰ってきて子育てをそこで楽しみたい。自然があるから楽しみたいと思っても、子どもにかかるストレスが膨大になるとは思うんですけども、その辺は考えていないのでしょうか。
教育課長	その通学にかかるストレスというのはあると思いますので、途中の休憩の時間を挟むということは、当然考えながら対応したいと思っています。
飯淵委員	最初に戻りますが、審議会の答申案に対する通学時間30分程度が望ましいということに関してはどのように考えていますか？
教育課長	小学生の通学時間が30分程度というのは、審議会の答申および基本方針にも明記されており、教育委員会事務局としましてもそれが望ましいと考えておるところです。しかしながら、4か所の候補地の中で立川地域であれば30分程度になるかという、余目地域から立川地域に通学した場合相当時間がかかりますので、いずれの場合も30分を超えるケースは出てきてしまうと思っています。
飯淵委員	答申案と基本方針の倍になるというのはいかがなものかと思いますが？
教育課長	倍にならないよう最善を尽くしたいと思います。
町長	余目から立川に通学した場合は、すべて30分程度で行けますか？
学校教育係長	通学時間の試算は、現在町が所有するスクールバスの台数で行っています。先程、響ホール北側候補地へは立谷沢清川地区から50分というお話をさせていただきましたが、逆に立川小中候補地へ余目地域から通学する場合、余目北部(第3学区)から45分、旧八栄里地区(第2学区)から40分かかると試算しています。また町所有のバスの台数が限られることから、立川地域でも立谷沢清川を回ってから運行した場合は、50分弱かかるものと思われます。

町長	そうすると答申の30分程度というのは厳しいということですね。現状では直行便にしない限り30分では行けないということですか？
教育課長	直行便ではなかなか行けませんので、各集落を廻るということになると、最初に乗った児童の乗車時間は45分を超えてくるということになります。
飯淵委員	通学はバスでなければ駄目なのですか？例えばJRを利用すれば、駅のトイレを利用できますし、ただバスに乗っているよりは、駅から歩くことで体を鍛えることになると思います。
教育課長	現在、JRでの試算はしておりません。移動する児童数を考えますと、現在陸羽西線は代行バスですが、再開した場合もそれだけの人数を乗せることが可能なのか、授業開始時間に間に合うダイヤがあるのか未確認なところがありますので、事務局としてはスクールバスでの登下校を考えています。
町長	以前、一部の集落ではJR通学がありました。現在はなくなったということではよろしいですか？ほかの市町村で列車通学というのはありますか？
教育長	県内すべては把握していませんが、庄内地方ではありません。列車通学の場合、始業時間に間に合うか、また日によって下校時間も変わりますので対応するのは難しいと思います。
飯淵委員	始業時間を変更することは可能ですか？
町長	始業時間の変更について検討していることはありますか？
教育長	例えば1時間遅らせるというのは厳しいと思いますが、多少遅らせることは可能だと考えます。
町長	具体的に何分とかはないが、調整可能ということではよろしいですね。ほかの委員の皆様はいかがですか？
太田委員	自由に意見を述べさせてもらうとして、1校か2校については1校が良いと思います。子どもの数、それから校風を作り上げていくという点から途中から変わるよりも最初から1校が良いと思います。 建設地は、立川小中学校の跡地が良いと思います。理由の一つ目としては、教育の機会均等と教育を受ける権利を考えた場合に、一番弱い立場のことを考えるのが教育だと思います。この場合の弱い立場というのが、長時間通学の子ども達だと思います。小学1年生が長時間バスに乗るのは、とても大変です。その大変さを等しく負担してほしいと思います。立川小中学校の跡地であれば、余目に行くよりはずっと近い。中学校は余目になるわけですが、その頃には体力もついていきますので問題ないと思います。余目地域の子もたちからは、小学校は立川に来てもらうわけですが、中学校では地元余目に通学するわけです。また、立川の自然というのは山もすごく近い。田んぼも多い。北楯大堰も近くにあります。認定こども園も近く、駐在所や、まちづくりセンターも近い。安全性その他いろいろなことを考慮して、立川小中学校跡地が、圧倒的に教育環境が素晴らしいと私は思っています。そういうところで、小学校6年間過ごせるのは、とても良いことだと思います。 二つ目として、立川を子どもたちに感じてほしいという気持ちがあります。これまで適正規模・適正配置審議会、再編整備検討委員会を行ってきましたが、どうしても余目と立川の隔たりを感じる機会が何回かありました。合併して20年近く経つのですから、立川でも余目でもなく庄内町だよという思いを子どもたちに感じてほしい。小中学校とも余目になってしまえば、余目の子ども達は余目しか知らないわけです。余目も立川も知ってほしいと思います。スクールバスの費用が、立川小中学校跡地にした場合、響ホール北側に比べ年間で

	<p>6千万円ほど多くかかるという試算がありました。響ホール北側の用地取得にかかる費用が10年で等しくなるという試算ですが、お金では換算できないものがあるのではないのでしょうか。まちづくりの視点から、子どもたちの小学校の学びという視点からお金で換算できないものを大事にしてもらいたいと思います。学校が建つ場所によって、非常に負担が大きくなる子どもが出てくるとは思います。負担の大きい子どもは救ってあげる覚悟と体制が必要になってくるとは思います。</p>
齊藤委員	<p>低学年の子どもがスクールバスに乗るのは、何分であっても負担になると思います。ただ魅力的な学校を作るのであれば、保護者が通わせたいような学校を作れば、場所がどこであっても安全に通うことができれば、保護者の不安は少なくなると思います。安全面に関しては、たぶん考えていくことができるので、魅力ある学校づくりを第一に考えていけば、いろいろな問題が解決しやすいのかなと思います。立川地域を学園都市として、子どもを育てていくのはとても魅力的だと思います。</p>
町長	齊藤委員も立川小中学校跡地が良いと思いますか？
齊藤委員	魅力的だとは思いますが。
町長	梅木委員はいかがですか？
梅木委員	<p>ほかの委員からもありましたが、重要なのは、学校の遠くに住む子どもには一層手厚く通学の方法を考えるということだと思います。いかに安全に安心に小学校まで送り届けるかということだと思います。1校と2校については、私は1校にすべきだと思います。再編整備の議論については5年にわたりいろいろ話ってきたわけですが、基本方針として、2校または1校が望ましいという結論までできたわけですね。その考えは尊重したいと思います。</p> <p>私が1校にこだわるのは、教育改革です。先程、再編整備検討委員会での意見の紹介がありましたが、今までの教育概念が変わるかもしれないというお話でした。大規模校になることによって最初に問題になるのが、やらなくてはいけないのが、教員の働き方改革です。そのためには、例えば担任のチーム制とか、一人一人の子どものための教育を大切にできるシステムというのは、やはり大規模校でなくてはできません。子どもたちの事を第一に考えるのであれば、それが一番にすることだと思っています。</p> <p>小学校の場所の選定については、やはり地域感情が出てきます。そのため選定はとても難しいと思います。とある市町村では、教育委員会で一度決定しましたが、住民の反対運動もあり、計画が白紙に戻った事例もあります。本町でもこれからそういうことが起こる可能性もあります。</p> <p>再編整備検討委員会でのお話を聞いていると、響ホール北側が良いという意見が多かったと思います。アンケート結果にも出ています。なぜかという、保護者の居住環境に大きく左右されていると思います。これは当然で、例えば保護者の方が酒田市や鶴岡市にお勤めの場合、学校やスポ少への送迎などを考えると、やはり街中の方が良いと思います。私は具体的な候補地は申し上げませんが、検討委員会での意見はそのようなことが含まれたものだと思います。また、庄内町の中心地としての機能があると思います。余目地域で積み重ねてきたインフラ整備、公共施設など、要するに街のランドデザインです。用地選定のうえで、無視することができないものと個人的には考えます。</p>
町長	皆さん、最初から1校ということではよろしいですか？
齊藤委員	低学年の子どもが通学に時間がかかるのであれば例えば分校などにすること

	はできるのでしょうか？
教育長	これから更に少子化が進む中での分校化は厳しいと考えます。
町長	教育委員の皆様から意見をお聞きしましたが、教育長から再編整備検討委員会の経過も含めお話をください。
教育長	<p>私は立川中学校と余目中学校の両校に勤務し、両地域の特徴や良さを体験してきました。小学校を再編整備していくうえで、ベースとなる私が考える「庄内町の教育の重点・骨子」について述べさせていただきます。</p> <p>① ひとりひとりに寄り添い生きる力を育みたい ・学力の向上・ICT の活用・幼保小中高の連携・キャリア教育、発達障害への指導支援</p> <p>② 集団生活と体験活動を通して社会性を育みたい ・安心安全な教育環境、居場所を作り、人権教育、多様性、不登校いじめへの対応への取り組み</p> <p>③ 心身ともに逞しい体づくりと安全教育の推進 ・基本的な生活習慣の形成・庄内町のお米を含めた食育の推進・部活動の地域移行、体育文化施設の有効活用</p> <p>④ 家庭教育、行政と連携した地域学習の推進 ・幼児教育、学童保育、放課後こども教室、不登校支援、子育て応援課との連携</p> <p>⑤ 地域交流、国際交流を通してのオンライン交流 ・国際人としての育成・歴史文化の理解・多様なものの考え・外国語学習の推進に力を入れていきたいと思えます。</p> <p>以上、教育重点を中心に子どもたちと庄内町の将来を総合的に考えて、小学校の候補地としては、学校教育社会教育のトップとして、響ホール北側が望ましいと思えます。</p>
教育長	<p>響ホール北側を候補地にすることについて、メリットやデメリットを簡単に説明します。まずは、小中高校連携活動です。小中学校では歩いて往復 15 分で行き来ができます。教育活動だけに目を向ければ、立川に小学校とする場合、スクールバスでの移動だけで、授業時間の 45 分がかかってしまいます。響ホール北側にすることにより、小中お互いに授業を見学したり、行事に参加したり、児童会や生徒会の交流、あいさつ運動を含めた交流ができればと思っています。</p> <p>それから教職員です。小中学校の教職員の交流も子どもたちを育てていくうえで、共通理解をするということでは非常に大切になってきます。</p> <p>特に、児童生徒指導上の家庭環境も含めた情報交換をしながら、子どもたちの変化に敏感に対応できる場所、また教職員の加配についても有利な制度を活用できると思えます。</p> <p>2 点目は、公共施設、民間施設、体育文化施設、行政施設と短時間で連携でき活用できると思えます。具体的には、役場、郵便局、銀行、警察署、消防署、病院、商店、中学校、庄内総合高校、体育施設、響ホールが近くにあります。授業や地域学習の場合でも徒歩圏内にあります。現在、子どもや家庭に関し、様々な問題がありますが、保健福祉課や子育て応援課と短時間で連携、相談しやすい環境になります。</p> <p>あとは、地域に開かれた学校を重視します。現在、部活動の休日の地域移行が進められていますが、将来的には平日も地域移行の対象になると思えます。響ホール北側であれば、スポ少の練習場所への移動も可能で、保護者の負担</p>

	<p>も軽減できると思います。先程委員からありました立川地域の自然体験活動や歴史文化活動も重視して推進していきたいと思います。</p> <p>3 点目。スクールバスについては、先ほどから話題になっている通りですが、検討委員会の中では、響ホール北側の場合は、小中相互利用ができるという意見がありました。小中学生の縦の繋がりを作り、思いやる心を育てることができます。費用的な面では、立川小中学校跡地にした場合、スクールバス費用が年間 6 千万円多くかかる試算が出ていますが、響ホール北側にすることにより、その費用をほかの教育活動へ活かせたらと思います。</p> <p>バスの台数、通学時間についてです。響ホール北側の場合は、10 台必要となる試算です。児童数の約半数が利用することになります。立谷沢清川地区からの乗車時間は約 50 分で乗車数は 10 名前後と試算しています。乗車時間については、直行便で運行することにより時間短縮、将来高規格道路の開通による時間短縮にも期待されます。</p> <p>一方、立川小中学校跡地の場合は、15 台必要になり、児童数の約 9 割が利用することとなります。スクールバスのドライバー確保については、現時点でも困難になっている状況です。余目地域からは、約 100 名の子どもが通学時間 30 分以上という試算です。現在、各校によって始業時間が違いますが、始業時間を若干遅くする配慮は必要だと考えます。最後に再編整備検討委員会において、小学校候補地についてアンケートを行いました。結果としては、委員 16 名中 13 名が響ホール北側、3 名が立川小中学校跡地という結果でした。今後正式に小学校候補地を出す場合、保護者の方の理解も考慮して判断する必要があるかと思います。先程もありましたが、他市町村では、民意から離れた教育委員会案を撤回せざるを得ない状況になり、修正案を提示した事例もありました。</p> <p>20, 30 年後を見据えて、より良い学び、学校生活ができる、持続可能な学習環境を作っていきたいと考えます。これから庄内町の将来を担う子どもたちの教育を最優先に、指導する教職員のことも十分考慮しての私の考えです。</p>
町長	<p>ありがとうございました。本日のところは、委員の皆様からそれぞれご意見を伺ったということですのでよろしいでしょうか。</p> <p>小学校の再編整備について、校数は最初から 1 校という意見が多数を占めました。候補地については、再編整備検討委員会でのアンケート結果とは少し違った意見もありましたので、その辺については改めて協議していきたいと思います。よろしく願います。</p> <p>教育長からもありましたが、20, 30 年後を見据え、子どもたちの学習環境は何かが一番良いのか？2050 年には庄内町の人口は 11,000 人という予測も出ております。教育環境、インフラ整備も含めていろいろなバランスを考えていく必要があると思っています。</p> <p>まず本日のところは、教育委員の皆様の見解を聞いたうえで、どこまで合意できるのかということについても残された時間の中で、しっかりと進めていければと思います。</p> <p>それでは(2)給食費の無償化について事務局より説明をお願いします。</p>
共同調理場所長	(資料に基づいて説明)
町長	米の値段が上がっていますが、食材費はいくらになりそうですか？
共同調理場所長	米の価格は、10 月までが 1 キロあたり 398.97 円で、11 月からは 538.97 円となり 140 円値上がりとなります。

町長	ほかの食材はどうですか？
共同調理場所長	例をあげますと、牛乳が年度当初と比較して 8%上昇しております。食材費全体で考えますと、約 5 割弱の上昇です。
町長	現在、給食費が 1 食あたり小学校で 275 円、中学校で 330 円となっておりますが、給食費の値上げについて概算で良いので数字は出せますか？
共同調理場所長	昨年の決算額ベースで試算しますと、食材費は 1 億 200 万円でしたので、同じ食材を使用した場合は、約 1 億 5 千万円となります。ただ、県内の状況を見ましても、1 割以上の値上げはどこ自治体でもほぼ行っておりません。庄内町では令和 4 年度に給食費を約 1 割値上げさせていただきました。単純に前回並みで 1 割程度値上げした場合は、半年無償化を考慮しない場合、小学校で一人当たり年間 5,500 円の増額となります。
町長	来週県知事との懇談会がありますので、その中で給食費の無償化についても意見交換してきたいと考えています。青森県は知事の公約で小中学校すべて無償化になっているようですが、山形県ではなっていない状況です。今年 11 月からつや姫の有機米の提供もお願いしているところですが、安心安全な食材使用を含めながら、保護者負担が少なくなるような体制づくりにしなければならぬと考えています。私の持論としては、給食費の負担について国が 1/2、県と町が 1/4 ぐらいの形でやっていければ良いかと思っていたので、まずは半額無償化ということで進めてきたところです。今回の協議題は、飯漕委員の提案ですが、飯漕委員いかがですか？
飯漕委員	子育て応援という視点からは、やはり完全無償化がベストとは思いますが、昨今の物価上昇をみると、財政的に厳しいというのは理解していますが、なんとか捻出してほしいと思います。国や県が動かないのであれば、町が率先してやっていただきたい。予算が限られている中で共同調理場では、すごくご苦労されていると思います。現在、半年無償化になっています。完全無償化がベストではありますが、もし給食費が上がるのであれば、増額分を町から負担いただきたいと今回協議題とさせていただきます。
町長	ほかの委員はいかがですか？
太田委員	令和 6 年度の庄内地方の給食費無償化状況を見まして、鶴岡市は完全無償化になっていますが、ほかの酒田市、遊佐町、三川町に比べ庄内町の半年無償化は凄く金額が多いことを改めて感じました。給食の無償化は、目に見える支援なので保護者にとっては、とてもありがたいことだと思います。ただ、町だけで完全無償化をした場合、すごく費用がかかると思います。その結果、現在実施している他の教育支援、例えば学習支援員の配置などに影響が出ないような形でやってもらいたいと思います。
梅木委員	いただいた資料を見ると、給食費の財源として一般財源やふるさと納税など様々なようです。どこの市町村も財源を工夫しながら、無償化に取り組んでいるということですね。特に人口減が問題になっている自治体が先行して実施している印象です。結局は、人の取り合いになるわけで、庄内町でもなんとか無償化できるように進めていけたら良いと思います。ただ、太田委員からもあったように無償化することにより、ほかの教育予算が減ることにならないように、子育てということで取り組んでいただきたいと思います。
齊藤委員	保護者の負担を減らしつつ、子どもたちがお腹いっぱい給食を食べられるような工夫をしていかなければならないと思います。大変難しいことだと思いますが。

町長	<p>先日、子ども食堂の会議に参加しました。全国で 9,000 を超える子ども食堂があり、山形県内でも 50 数か所、本町も 3 か所あります。来年度、まちづくりセンターを中心としながら、子ども食堂という名目で集まってもらえるような仕組みづくりができるよう進めているところです。食を通して、安全安心もそうなんですが、その影響でほかの教育予算が減らないようにしながら、財政のことはしっかり考えていきたいと考えていますので、今後とも給食費の無償化のみならず、いろいろな形でご意見をいただければと思います。ほかに無いようでしたら、進行を事務局へお返しします。</p>
教育課長	<p>本日は貴重なご意見ありがとうございました。いただいた意見につきましては、これから小中学校再編整備検討委員会ももう 1 回ありますので、そこで検討させていただきたいと思います。学校給食の無償化についても、いろいろなご意見をいただきました。ありがとうございます。来年度の予算に反映できるように内部で検討させていただきます。以上をもちまして、第 1 回庄内町総合教育会議を終了します。</p>
閉会	(午前 10 時 45 分)